

「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」活性化部会と
「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」の合同会議について

名称	アイヌ文化情報発信ネットワーク会議 (平成24年7月設置)	民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク (平成28年11月設置)
設置目的	<p>アイヌの歴史、文化等について正しく理解し、その価値を認識することが重要であることから、幅広い道民の理解を促進していくため、道や関係団体、民間企業が情報を共有しながら、連携による情報発信に向けた取組について検討するために設置。</p> <p>※構成機関数:55機関 ※事務局:道アイヌ政策推進室</p>	<p>2020年のアイヌ文化の復興等に関するナショナルセンター「民族共生象徴空間」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済団体が一体となって、100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的に設置。</p> <p>※構成機関数:72機関 ※事務局:道アイヌ政策推進室</p>

合同開催とする理由

- ◆「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」も情報発信に関する取組を行っている。
- ◆現在のアイヌ文化に関する情報共有のメインテーマが「民族共生象徴空間」であること。
- ◆構成機関の多くが両会議に参画いただいている。(重複機関数:32機関)



「民族共生象徴空間」が開設する2020年までの間、両会議を合同開催とさせていただき、幅広い関係機関によるアイヌ文化・民族共生象徴空間の情報発信に取り組む。